



去る5月21日（金）に開催された標記会議内容についてお知らせします。

議題 1. 幹事長・副幹事長の互選について

事務局から、総合型地域スポーツクラブ全国協議会規約第9条第1項に則って行う旨説明し、幹事長及び副幹事長の互選を行った。

互選の結果、幹事長及び副幹事長ともに、立候補者いなかったため他薦を求めた結果、令和3年度幹事長は北海道ブロック常任幹事の伊端隆康氏、副幹事長は北信越ブロック常任幹事の渡邊優子氏、中国ブロック常任幹事の関口昌和氏が選任された。

議題 2. 令和3年度 of 取組について

事務局から、令和3年度SC全国ネットワークの各取組について資料をもとに説明し、協議の結果、以下のとおり取り進めることとなった。

(1) 総合型クラブ登録・認証制度の実施に向けた取組

①総合型クラブ登録・認証制度 都道府県版制度原案確認の視点

事務局から、総合型クラブ登録・認証制度の運用開始に向けた取組スケジュールの一部変更について報告した後、都道府県版総合型クラブ登録・認証制度（以下「県版制度」という。）の確認の視点（案）について説明した。協議の結果、標記の一部修正が必要であるものの、内容について承認された。

②総合型クラブ登録・認証制度 都道府県版制度原案の作成状況

県版制度原案作成状況については、第1回の締切とした5月17日までに4県から提出があり、確認の視点を基に原案を確認した結果、3県については総合型クラブ登録・認証制度と整合性が

保たれていることが確認され、提出のあった 4 県の協議結果は、下記のとおりである。1 県については整合性が保たれていないことから差し戻すこととした。

(2) 関係機関・団体との連携体制の構築

①ブロック別クラブネットワークアクション共通プログラム(運動部活動改革について)

事務局から、令和 3 年度ブロック別クラブネットワークアクションの共通プログラム「運動部活動改革に関する情報提供と実践例の紹介」のプログラムの取り組みについて説明し、承認された。また、スポーツ安全協会の助成事業を同時開催することについて、開催要項に基づき説明した。

〈主な意見〉

- ブロック別クラブネットワークアクション共通プログラム 90 分とスポーツ安全協会事業 60 分の計 150 分の時間を確保することになるのか。
- 運動部活動改革の理解を深めるため、各都道府県が実施する独自プログラムのテーマを運動部活動改革に関する内容としても問題ないか。
- 進行方法はそれぞれのブロックに応じて、理解が深まるやり方で問題ないか。

【上記に関する事務局からの説明】

スポーツ庁からも情報提供いただく予定のため、その点は考慮いただきプログラムや時間配分等は実行委員会で調整していただきたい旨、説明した。

- 現時点から集合形式とオンライン形式との併用やオンラインのみで開催することを計画しても良いのか。

【上記に関する事務局からの説明】

可能であればオンライン併用、又は状況によってはオンラインのみで実施することも含め検討していることを説明し、実行委員会までに方針を示すこととした。

(3) 情報収集・提供体制の整備に向けた取組

①都道府県総合型クラブ連絡協議会の現状把握調査

事務局から、都道府県総合型クラブ連絡協議会の現状把握調査について説明し、回収したデータを事務局にて集計・分析し、第 2 回常任幹事会にて報告することが了承された。また、調査内容に新型コロナウイルスによるクラブへの影響について項目を追加することとした。

②公式メールマガジンによる情報共有

事務局から、令和 3 年度の企画一覧に基づき、都道府県協議会及び都道府県体育・スポーツ協会総合型クラブ育成事業担当者へ情報提供アンケートを実施した旨を報告した。

〈主な意見〉

- 令和 2 年度と令和 3 年度の現状調査のため、新型コロナウイルスの影響について、情報収集し、記録しておくべきではないか。

(4) クラブマネジメント人材の発掘・育成に向けた取組

①男女共同参画部会の設置

事務局から、男女共同参画部会の設置にあたり、部会長の候補者に関口副幹事長を提案するとともに、部会員候補者案を提案し、承認された。今後、事務局から部会員候補者に対し、委員委嘱の依頼を進めることとした。

②令和3年度クラブ支援ミーティング

事務局から、第1回の概要を報告するとともに、7月2日に実施する第2回クラブ支援ミーティングの実施内容を説明した。

今後のクラブアドバイザーの在り方について、JSP0としても検討し、スポーツ庁やJSC等に要望していく必要があるのではないかとの意見があり、引き続き協議することとした。

〈主な意見〉

- クラブアドバイザーの在り方については、各都道府県におけるクラブアドバイザーの実態を調査するなどし、JSP0として検討し、JSCに要望していく必要があると考える。
- 登録・認証制度にも関わってくる問題である。

議題3. 令和4年度以降の総合型地域スポーツクラブ全国協議会推進体制の検討

事務局から、令和4年度以降の専門部会設置について説明し、部会の取組内容及び設置する専門部会の種類について意見聴取した。

次回以降も継続して協議し、令和3年度中に推進体制をとりまとめ、令和4年2月開催予定の総会にて報告することとした。

〈主な意見〉

- これからのクラブの在り方やクラブの評価をどう活かして組織に変化をもたらすのか、整理できたら良いだろう。
- 連携体制の構築が重要かと思う。第3期スポーツ基本計画の中の重要な部分について専門部会として組織化されても良いかと思う。
- 現状は、クラブの会員数や種目数のみが公表されているが、社会に向けて広報発信できるように、広報面充実させる必要があると思う。
- 全国の組織を活かし、自立するための資金を調達できる連携づくりができないだろうか。
- 一般企業と連携した財源確保が重要と考えている。イベント等の事業ができていない現状のため、コンサルティング等ができる部会がほしい。
- 人材育成をどう取り組んでいくかが課題になっている。世代交代に取り組んできたが、世代交代が進んでいない。人材育成を議論できる場があれば良いと思う。

- 横断的な取り組みができる組織の在り方について検討できないだろうか。
- スポーツ少年団との連携を考えていかななくてはいけないのではないか。
- 運動部活動やスポーツ少年団の喫緊の課題等、大きな転換期である。戦略的に総合型クラブを作り直していく戦略部会があっても良い。
- クラブ自体がどこと連携していくか等、議論されて発展できれば良い。運動部活動、スポーツ少年団を切り口に方向性を検討できるのではないか。

報告 1. 令和 2 年度第 2 回女性スポーツ委員会の報告

事務局から、以下の内容について報告した。

- ・ジェンダー差別のない社会の実現に向けた伊藤会長の声明文をホームページに掲載したこと
- ・スポーツ団体の女性役員登用及び活用に関するアンケート結果
- ・スポーツ現場におけるハラスメント防止に関する動画が 6 月完成予定であること

報告 2. 令和 2 年度国庫補助事業第 1 次補正

アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）を活用した運動遊び促進事業 実施報告

事務局から、令和 2 年度国庫補助事業、第 1 次補正予算により実施した「アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）を活用した運動遊び促進事業」における都道府県体育・スポーツ協会への委託事業について、合計 36 道府県、全 787 コースを実施し、委託金総額 207,435,069 円となり、うち総合型クラブが主催したコース数は、370 コースであったことを報告した。

報告 3. 令和 2 年度国庫補助事業第 2 次補正

スポーツ活動継続サポート事業 実施報告

事務局から、令和 2 年度国庫補助事業、第 2 次補正予算により実施した「スポーツ活動継続サポート事業」について、補助交付件数は全体で 3,862 件、交付実績額は総額 22 億 443 万 9 千円となり、そのうち総合型地域スポーツクラブ全国協議会加入クラブは 238 件、交付額 1 億 5563 万 6 千円であったことを報告した。

報告 4. 令和 3 年度国庫補助事業

1. 地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業について
2. 子供の運動遊び定着のための官民連携推進事業について

1. 地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業について

事務局から、「地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業」の事業概要について説明した。また、事業の一部を都道府県体育・スポーツ協会に委託し、1 県あたり 219 万円程度の委託金を予定していることを報告した。

2. 子供の運動遊び定着のための官民連携推進事業について

事務局から、「子供の運動遊び定着のための官民連携促進事業」の事業概要について説明した。本事業は、日本スポーツ協会が都道府県体育・スポーツ協会に業務委託し実施するが、総合型クラブと連携した取組とする都道府県もあることから、その際の協力について依頼した。

〈主な意見〉

- スポーツ少年団担当者側への連絡のために連絡されているため、総合型クラブ関係には伝達されていない。関係性が難しいところがある。

報告 5. 令和 3 年度スポーツ振興くじ助成金交付決定

事務局から、令和 3 年度スポーツ振興くじ助成金（総合型地域スポーツクラブ関係）の交付決定について報告した。日本スポーツ振興センター(JSC)における審査の結果、ブロック別クラブネットワークアクション 2021 及び総合型地域スポーツクラブ情報提供(メールマガジン)ともに B 評価となり、交付決定額は 956 万 8 千円となった。

報告 6. 令和 3 年度 SC 全国ネットワーク代表委員の変更

事務局から、5 月 21 日時点における令和 3 年度 SC 全国ネットワーク代表委員の変更について報告した。

【変更後の代表委員】

(敬称略)

ブロック	都道府県名	名前	所属クラブ	役職
四国	高知県	武市 光徳	NPO 法人まほろばクラブ南国	理事長

報告 7. 国の動向

事務局から、スポーツ審議会において第 3 期スポーツ基本計画の策定に向けた議論が開始されたこと及び策定に向けたスケジュールについて報告した。

〈主な意見〉

- 全国協議会へのヒアリングがあり、登録認証制度の開始に向け、都道府県、市区町村、中間支援組織となる都道府県体育・スポーツ協会に対し、人と財源を確保していただくよう意見した。

8. その他

事務局から、5 月 18 日付にて都道府県協議会宛に「スポーツ団体における資金調達の現状把握調査」の依頼をしたことについて報告した。この結果を基に JSP0 として加盟団体、総合型クラブへのサポートを検討していくため実施している。県内のクラブに対し、調査のご協力をお願いしたい。